

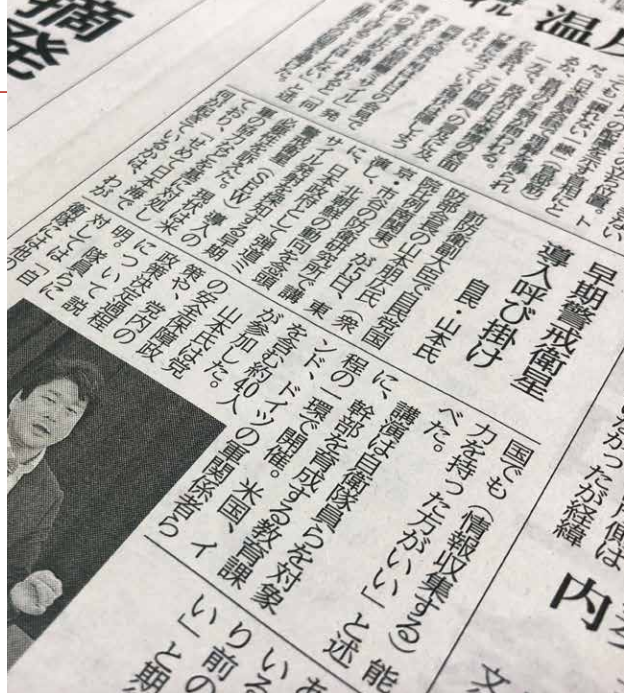
ぽれぽれ 通信

せめて日本海で
何が起きているかは
把握すべきだ

7・8月号
vol.47

日本海で何が起きて いるか分からない

同僚議員から「コースに出て
ましたね」と声を掛けられた
山本は「え！？何の件だろ
う？」と尋ねると「早期警戒衛



早期警戒衛星の 導入を検討すべき

星の件ですよ」と答えが返って
来た。5月に依頼を受け、山本
が防衛研究所（以下、防研）で
講義をしたことを地元紙であ
る神奈川新聞が報じた記事
が、ネット上でもコースになっ
ていたようで他県の議員にも

その記事が目に残ったよう
だ。防研とは、防衛省の政策研
究の中核として、主に安全保
障及び戦史に関し政策指向の
調査研究を行うとともに、自
衛隊の高級幹部等の育成のた
めの国防大学レベルの教育機
関としての機能を果たしてい
る。加えて、戦史史料の管理、
公開等を行っており、我が国最
大の戦史研究センターとして
の役割も担っている。その防研
の一般課程（主として1佐クラ
スの幹部自衛官や課長補佐ク
ラスの職員、外国からの大佐・
中佐クラスの軍人等を対象と
して行われる教育）で「マの
授業・講義を山本が依頼され
た。恐らく、防衛副大臣経験者
であり、自民党の安全保障政
策の責任者である国防部長
を務めているということであ
ろう。

講義において、山本は、自民党の安全保障政策や、党内の政策決定過程、また人事制度など多岐に渡る事柄について2時間におよぶ授業を行った。その中で、5月4日に北朝鮮が複数の飛翔体を発射し、9日には2発の短距離弾道ミサイルを発射したことに触れ、4日は飛翔体と呼称し、9日はミサイルとしたことは、情報源である米国の公表した名称に日本も合わせなければならなかっただけで、日本が独力で、そこで何が起きているのか分かるだけの能力を有していたならば、それをミサイルと呼ぶのか、飛翔体と呼ぶのが政治的、政策的に判断することが可能だった。だが、情報を同盟国や他国に頼っているのは、情報源である他国の政治的、政策的な判断に合わせなければなら

らなくなる。世界中を見る必要は我が国には無いが、せめて日本海では何が起きているか、分かるだけの能力を有してはどうか。そのためには早期警戒衛星が必要なのではないかと山本が述べたことが、神奈川新聞において「早期警戒衛星、導入呼び掛け」という記事になったのだ。山本は、その授業の最後に隊員らに対して「自衛隊には他の組織には存在し得ない大きな力がある。専守防衛を旨として、困っている人を助けるという当たり前のことを貫いてほしい」と防衛省・自衛隊に対する期待を述べて講義を終えた。

第三国が日本に向けミサイルを発射したら

早期警戒衛星を持たない我が国は、仮に第三国や敵対勢力

から日本に向けてミサイルを発射された場合、どのように国を守ることができるのか。実は、上空3万メートルの米軍の早期警戒衛星から日本の自動警戒管制システム（JADGE）に情報が伝達され、その入手した弾道ミサイルに関する情報を弾道ミサイル防衛（BMD）システムに伝達し対応することになっている。従って、攻撃をされても防衛することが可能なのだ。

ただ、早期警戒衛星を持たない日本も無為無策だったわけではない。1998年に北朝鮮によるミサイル「テポドン1号」が発射され、東北地方の上空を飛び越え、太平洋の三陸沖に落下した。その際、情報収集衛星の導入の声が高まり、政府は、直ちに導入を閣議決

定し、その保有と運用に着手した。しかし、1969年のいわゆる「宇宙の平和利用に関する国会決議」が日本の宇宙開発を非軍事目的に制限していたので、軍事衛星やスパイ衛星ではなく、あくまでも「外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のため」のものとした。運用も防衛省・自衛隊ではなく内閣官房の内閣情報調査室に内閣衛星情報センターを設け、そこが担うことになり現在に至っている。因みに、現在、早期警戒衛星を運用している国は、米
国と露国だけである。

今、求められる 制宙権の確保

我が国に飛来する弾道ミサイル発射兆候などの早期検知には、宇宙からの警戒監視が有効

なのは論を待たない。そこで山本が衆議院議員1期目の際に議員立法として直接取り組んだのが宇宙基本法である。同法は2008年に成立し、宇宙利用の目的を「国際社会の平和・安全の確保、我が国の安全保障に資することとした。昨年、山本が策定に携わった新たな防衛大綱においても新たな領域として宇宙の活用



▲防衛省専用の通信衛星「きらめき」

が明記された。また山本は、2001年に(財)松下政経塾の「塾報」に寄せたレポートで『現代にあつて、他国に比して戦略的優位性を獲得・維持するには、「制宙権」の確保が欠かせない。時代は「制海権」から「制空権」を経て、宇宙を制するものが世界を制する「制宙権」に入った。このような認識に立ち、ミサイル防衛計画への参加を検討すべきである。』と既に記していた。約20年前に一塾生として宇宙領域の活用を説いていた山本が、現在、自民党の安全保障政策の責任者である国防部長として活動している中、政府が宇宙領域における能力の獲得・強化を防衛大綱で明記したのは偶然なのだろうか。そして、将来、早期警戒衛星は山本の指摘通り導入されるのだろうか。



ぺんぺん特別秘書官の603運動紹介!

今回お伺いしたサークルは 「全国古民家再生協会(協会)」の取り組み



第7回は、「全国古民家再生協会(協会)」の取組を紹介するぞ。古民家というは何十年も昔の建物、というイメージがあるかもしれないが、協会では、昭和25年の建築基準法制定前に建てられた「伝統構法の住宅」を古民家と定義しているんだ。これまで古家の価値が認められていなかったが、実は地元の木材で、その土地の気候風

土に合っている、しっかりとした建築だからこそ残存している事に注目! 良い建物なのに「古家=解体」は勿体ないし、費用もかかる。そこで良い古民家かどうか見極める力を養う「古民家鑑定士」を育成しているんだ。試験は20歳以上、性別・学歴の制限は無し。建築専門の知識がなくても大丈夫。シルバー人材センターに登録している人は「木造空き家簡易鑑定士」を取得し、地域の空き家対策にも貢献しているぞ。伝統を知る事からイノベーションが生まれ出される。古いものに価値がない時代は終わりだ! 協会の神奈川支部は月に一度例会を県民サポートセンターで行っている。ぜひ興味ある人は神奈川代表理事に問い合わせてくれ!

お問い合わせ先

一般社団法人 全国古民家再生協会(神奈川代表理事 竹内章悟)

TEL 0467-33-5701

FAX 0467-32-7019

携帯 080-4606-4648

E-mail kanagawaken@kominka-kamakura.com

URL <http://www.kominka-kamakura.com>

BLOG <http://ameblo.jp/kamakura88>



駅で「ぽれぽれ通信」を お配りしております **駅頭活動報告**



「頑張ってるね」

「えっ！本人？応援しているので握手して」

「これは普段どこで手に入るの？」

「ニュース観ました！頑張ってください」などなど

今朝も多くの皆様に声を掛けて頂きました。

お受け取り頂いた皆様も含めて、

感謝、感謝です！

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞆と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。

前回の「ぽれぽれ通信」配布数

5月・6月集計分

駅 名	5月	枚 数	6月	枚 数	前月比
逗子駅	7日(火)	579	3日(月)	568	➡
新逗子駅	8日(水)	338	4日(火)	346	➡
鎌倉駅(東口)	9日(木)	441	5日(水)	409	⬇
鎌倉駅(西口)	10日(金)	424	6日(木)	220	⬇
大船駅(西口)	13日(月)	407	7日(金)	454	⬆
大船駅(モノレール口)	22日(水)	230	18日(火)	513	⬆
大船駅(東口)	15日(水)	470	11日(火)	439	⬇
大船駅(笠間口)	16日(木)	506	12日(水)	732	⬆
本郷台駅	17日(金)	229	13日(木)	518	⬆
港南台駅	20日(月)	157	14日(金)	255	⬆
	5月配布合計	3,781	6月配布合計	4,457	⬆

アドレスは「ぽれぽれ」

twitter、Facebookも本人がやっています
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



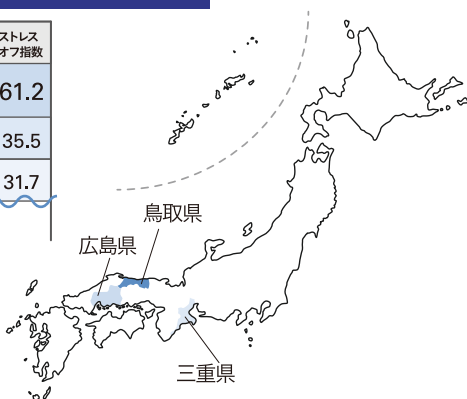
twitter
@ty_polepole



facebook
facebook.com/ty.polepole

ストレスオフ県ランキング2019

順位	都道府県名	ストレス オフ指数
1位	鳥取県	61.2
2位	広島県	35.5
3位	三重県	31.7
...	...	...



出典：メディプラス研究所

ストレスオフ県ランキング2019発表！3年ぶりの第1位は？

山本らが協力している（一社）ストレスオフ・アライアンスなどの連携により実施した当ランキング。全国の女性7万人を対象に行った調査のデータを基に、様々な分析・研究を進めている。

第1位は、3年ぶりの首位奪還となる鳥取県。ストレスオフの重要なキーワードである人間関係の充実やコミュニケーションを円滑にするための「グルーミング環境」が整っていることが功を奏しているそう。第2位、第3位も地元根付いたプライベート時間の満足度や地域満足度が高いことが要因とのこと。気になる神奈川県は…24位。中間の順位ながら、昨年の41位からは大躍進といえるのではないだろうか。一方、高ストレス者の割合は4年連続で増加しており、国を挙げた対策を迫られている。今回の上位県の傾向をみると、ストレスオフ指数を高めるためには「自然との共生環境」と「新旧の文化が息づいた県」の地域満足度が重要な要素となっていることから、我が神奈川県4区にも十分その素質が備わっていることは明らかだ。通勤時間の改善などまだまだ課題は多いが、ぜひ地元から県へ、そして国へとストレスオフ文化を根付かせていくべく、尽力していきたい。

山本ともひろプロフィール

経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成29年 衆院選 4期目の当選
- 平成30年 自民党 国防部会長 就任

自由民主党 衆議院議員(4期 10年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)

昭和50年(1975年)生まれ
44歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

国会見学案内実施中!!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく楽しかった!」と大好評。ご案内は無料で行っていますので、詳細は下記事務所にお気軽にお問合せ下さい。



ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動の皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和1年(2019年)7月5日発行 第47号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぽれぽれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。